

平成30年9月11日
公益社団法人 大分県畜産協会

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補填金単価について【平成30年7月分】

平成30年7月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機第5583号）第6の9及び附則10の概算払の補填金単価については、下記のとおりです。

なお、補填金単価の確定値については、平成30年11月上旬に公表する予定です。

記

(円/頭)

	肉専用種 (地域算定)	交雑種 (全国算定)	乳用種 (全国算定)
暫定補填金単価	137,400	71,600	26,600
概算払単価	133,400	67,600	22,600

注1：平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

注2：平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。

注3：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円/頭を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円/頭未満の場合は概算払を行いません。

注4：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

注5：平成26年度より、消費税抜きで算定しています。

注6：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。

<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>

連絡先

価格安定課

担当：神崎、大森

電話：097-545-6594

(参考)

平成30年度 牛マルキン事業補填金算定基礎(肉専用種)
【平成30年7月】

※ 県独自に算定を実施。

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,131,543
生産コスト (B)	1,284,239
差額 (C) = (A) - (B)	△ 152,696
暫定補填金単価 (D) = (C) × 0.9	137,400
補填金単価 (概算払) (D) - 4,000	133,400

粗収益 (A) = ① + ②	1,131,543
主産物価格 ① = a × b	1,121,424
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,298
枝肉重量 (kg) b	488
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,284,239
物財費 ③	1,184,543
もと畜費	824,820
飼料費	284,210
流通飼料費	282,587
麦類	11,412
とうもろこし	11,617
ふすま	11,151
かす類	7,722
配合飼料 (暫定値)	195,925
稲わら	23,908
その他	20,852
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	11,936
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,406
自動車費	7,036
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,259,503
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,426

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

大阪中央卸売市場、福岡市中央卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、曾於中央家畜市場、熊本県畜産農業協同組合（熊本県家畜市場）、天草畜産農業協同組合（天草家畜市場）、小林地域家畜市場、県南家畜市場、球磨家畜市場、都城地域家畜市場、高千穂地域家畜市場（高千穂地区農協畜産部）